

Dell Networking  
N1108T-0N/N1108P-0N/  
N1108EP-0N/N1124T-0N/  
N1124P-0N/N1148T-0N/  
N1148P-0N スイッチ  
『はじめに』



# メモ、注意、警告

 **メモ**：スイッチを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意**：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

 **警告**：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

## リチウムバッテリーに関する注意：

- バッテリーを誤って交換すると爆発する恐れがあります。同じ種類、または同等の種類のみご使用ください。製造元の指示に従って処分してください。
- バッテリーを処分する際、火の中や熱い窯に入れたり、機械で粉碎または切削したりすると、爆発する恐れがあります。
- 非常に高温の場所にバッテリーを放置すると、可燃性の液体やガスの漏洩、または爆発の恐れがあります。
- バッテリーが空気圧の非常に低い場所にある場合、可燃性の液体やガスの漏洩、または爆発の恐れがあります。
- デバイスは、処置室や機械室など、固定の場所に設置して使用してください。デバイスを設置する場合、ソケットのコンセントがアース保護されていることを熟練技術者が確認してください。

---

© 2021 Dell Inc. その関連会社。All rights reserved. 本製品は、米国および国際的な著作権法および知的財産法によって保護されています。Dell、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

認可モデル：E17W および E18W

2021年4月 P/N JJH MV\_A02\_JA Rev.A02

# 内容

1	はじめに .....	5
	<b>N1100-ON シリーズ ハードウェアの概要</b> .....	5
	N1100-ON シリーズ PoE スイッチの電力消費. . .	5
	通気システム .....	6
	<b>N1100-ON シリーズ モデルの概要</b> .....	7
	<b>マウントブラケット情報</b> .....	7
2	<b>N1108T-ON/N1108P-ON/N1108EP-ON の設置</b> .....	8
	<b>Dell タンDEM トレイを使用した N1108T-ON/ N1108P-ON スイッチの取り付け</b> .....	8
	<b>大型 L-ブラケットを使用した 2 ポスト ラックへの N1108T-ON/N1108P-ON/N1108EP-ON の取り付け</b> . . . .	9
	<b>壁面へのすべての N11xx-ON スイッチの 取り付け</b> .....	11
3	<b>N1124T-ON/N1124P-ON/N1148T-ON/ N1148P-ON の取り付け</b> .....	14
	<b>N1124T-ON/N1124P-ON/N1148T-ON/N1148P-ON スイッチのラック取り付け</b> .....	14
	ラックへの取り付け .....	14
	独立型のスイッチとしてインストール . . . .	16

	複数の N1124T-ON/N1124P-ON/N1148T-ON/ N1148P-ON スイッチのスタッキング . . . . .	16
4	N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチの開始 および設定 N1100-ON シリーズ 設定 . . . . .	17
	N1100-ON シリーズ スイッチの端末への接続 . . . . .	18
	N1100-ON シリーズ スイッチの電源への接続 . . . . .	19
	AC および DC 電源 の接続 . . . . .	19
	スイッチの起動 N1100-ON シリーズ . . . . .	20
	N1100-ON シリーズ の初期設定の実行 . . . . .	21
	リモート管理の有効化 . . . . .	21
	初期設定の手順 . . . . .	22
	セッションの例 . . . . .	23
	Dell Easy Setup Wizard コンソールの例 . . . . .	24
	次の手順 . . . . .	28
5	機関のコンプライアンス . . . . .	30
6	作動高度：情報アップデート . . . . .	37

# はじめに

本書では、Dell Networking N1100-ON シリーズ スイッチに関する基本情報として、本スイッチの取り付け方法および初期設定方法を説明します。スイッチ機能の設定および監視方法の詳細については、[dell.com/support](http://dell.com/support) にある Dell サポートサイトで入手できる『ユーザー設定ガイド』を参照してください。マニュアルおよびファームウェアの最新アップデートについては、サポート Web サイトを参照してください。



**メモ：** スイッチ管理者は、最新版の Dell Networking オペレーティング システム (DNOS) 上の Dell Networking スイッチを保守することを強く推奨します。Dell Networking は、お客様のフィードバックに基づいて DNOS の機能を絶えず向上させています。重要なインフラストラクチャについては、DNOS バージョンとのネットワーク設定および操作を検証するために、新しいリリースの事前ステージをネットワークの重要性の低い部分に行うことをお勧めします。

## N1100-ON シリーズ ハードウェアの概要

本項では、Dell Networking N1100-ON シリーズ スイッチのデバイスの特徴およびモジュラーハードウェア構成について説明します。

**メモ：** N1108EP-ON スイッチは、外付けの電源アダプタを使用します。N1108EP-ON 外付け電源アダプタには、取り付けキットはありません。N1108EP-ON を取り付ける場合、外付け電源アダプタをスイッチから離して設置します。

## N1100-ON シリーズ PoE スイッチの電力消費

表 1-1 では、N1100-ON シリーズ PoE スイッチの電力消費について記載しています。PoE の電力バジェットは、N1108P-ON が 60W、N1108EP-ON が 123W、N1124P-ON が 185W、N1148P-ON が 370W です。

表 1-1. N1100-ON シリーズ PoE スイッチの電力消費

モデル	入力電圧	電源設定	最大定常消費 (A)	最大定常電力 (W)
N1108P-ON	100V/60Hz	メイン PSU	0.95A	88.64W
	110V/60Hz	メイン PSU	0.87A	88.43W
	120V/60Hz	メイン PSU	0.80A	88.22W
	220V/50Hz	メイン PSU	0.49A	89.28W
	240V/50Hz	メイン PSU	0.45A	89.70W

モデル	入力電圧	電源設定	最大定常電流消費 (A)	最大定常電力 (W)
N1108EP-ON	100V/60Hz	54VDC 外付け電源アダプタ	1.62A	157W
	110V/60Hz	54VDC 外付け電源アダプタ	1.47A	157W
	120V/60Hz	54VDC 外付け電源アダプタ	1.35A	157W
	220V/50Hz	54VDC 外付け電源アダプタ	0.74A	157W
	240V/50Hz	54VDC 外付け電源アダプタ	0.67A	157W
N1124P-ON	100V/60Hz	メイン PSU	2.66A	260.66W
	110V/60Hz	メイン PSU	2.38A	257.95W
	120V/60Hz	メイン PSU	2.16A	256.27W
	220V/50Hz	メイン PSU	1.18A	250.52W
	240V/50Hz	メイン PSU	1.10A	251.25W
N1148P-ON	100V/60Hz	メイン PSU	4.78A	476.03W
	110V/60Hz	メイン PSU	4.32A	472.64W
	120V/60Hz	メイン PSU	3.95A	470.58W
	220V/50Hz	メイン PSU	2.14A	459.37W
	240V/50Hz	メイン PSU	1.97A	459.06W

## 通気システム

1 台のファンで N1108T-ON/N1108P-ON スイッチを冷却し、2 台のファンで N1024T-ON/N1024P-ON/N1048T-ON/N1048P-ON スイッチを冷却します。ファンは現場で交換できません。N1108EP-ON は、ファンレススイッチです。

# N1100-ON シリーズ モデルの概要

表 1-2. N1100-ON シリーズ スイッチ認可番号

マーケティング モデル名 (MMN)	説明	電源供給ユ ニット (PSU)	認可モデル 番号 (RMN)	認可タイプ 番号 (RTN)
N1108T-ON	10x1G/2x1G SFP ポート	DPS-24GP	E17W	E17W001
N1108P-ON	10x1G/2x1G SFP/2xPoE+ ポート	DPS-80AP/ DPS-24GP	E17W	E17W001
N1108EP-ON	8x1G PoE+/2x1G PD/2x1G SFP ポート	ADP-280BR	E48W	E48W001
N1124T-ON	24x1G/4x10G SFP+ ポート	DPS-40AP	E18W	E18W001
N1124P-ON	24x1G/4x10G SFP+/6xPoE+ ポート	EDPS-250BF	E18W	E18W001
N1148T-ON	48x1G/4x10G SFP+ ポート	DPS-60AP	E18W	E18W002
N1148P-ON	48x1G/4x10G SFP+/12xPoE+ ポート	YM-2501D	E18W	E18W002

## マウントブラケット情報

### サポートされているマウントブラケット

マーケティング モデル名 (MMN)	デバイスに同梱されて いるマウントキット	別途購入できるその他の サポートされているマウ ントキット	壁取り付けに関する制限 事項
N1108T-ON/ N1108P-ON	ウォールマウント キット	<ul style="list-style-type: none"> <li>2ポストマウント用の 大型L字ブラケット</li> <li>タンデムトレイ</li> </ul>	I/O を下向きにして取り 付けることはできません
N1124T-ON/ N1124P-ON	2ポストラックマウ ント	なし	I/O を下向きにして取り 付けることはできません
N1148T-ON/ N1148P-ON	2ポストラックマウ ント	なし	I/O を下向きにして取り 付けることはできません
N1108EP-ON	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>2ポストマウント用の 大型L字ブラケット</li> <li>ウォールマウント キット</li> </ul>	IO を下向きにして取り付 けできます

# N1108T-ON/N1108P-ON/N1108EP-ON の設置

## Dell タンデム トレイを使用した N1108T-ON/N1108P-ON スイッチの取り付け

AC 電源コネクタは背面パネルにあります。

 **メモ** : Dell タンデム トレイは製品に同梱されていません。Dell タンデム トレイを使用する場合は、別途購入してください。

 N1108EP-ON は、タンデム トレイを使用してマウントすることはできません。

 **警告** : 安全および認可に関する情報およびスイッチに接続またはサポートしている他のスイッチについての安全情報をお読みください。

 **警告** : ラック取り付けキットを使用して、テーブルや机の下からスイッチをぶら下げたり、壁に取り付けたりしないでください。

 **注意** : スイッチからすべてのケーブルを外して、続行します。取り付けられている場合はスイッチの下側からすべての粘着パッドを取り外します。

 **注意** : ラックに複数のスイッチを取り付ける場合は、下から上に取り付けます。

- 1 図 1-1 に示されているように、N1108T-ON/N1108P-ON スイッチを Dell タンデム トレイ キットに固定します。

図 1-1. Dell タンデムトレイキット



- 2 スイッチを 48.26 cm (19 インチ) ラックに挿入し、キットのラック取り付け穴がラックの取り付け穴と揃っていることを確認します。
- 3 ラックボルトまたはケージナットおよびワッシャ付きのケージナットボルトのいずれか（お使いのラックの種類による）でキットをラックに固定します。底部のボルトを締めてから、上部のボルトを締めます。

## 大型 L-ブラケットを使用した 2 ポスト ラックへの N1108T-ON/N1108P-ON/N1108EP-ON の取り付け

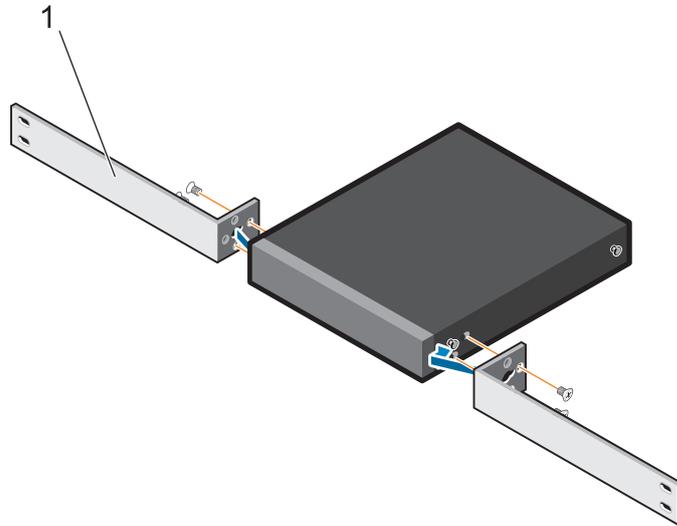
**メモ：** AC 電源コネクタは、N1108T-ON/N1108P-ON スイッチの背面パネルにあります。N1108EP-ON 用の DC 電源コネクタは、背面パネルの中央にあります。

**メモ：** N1108EP-ON スイッチは、外付けの電源アダプタを使用します。N1108EP-ON 外付け電源アダプタには、取り付けキットはありません。N1108EP-ON を取り付ける場合、外付け電源アダプタをスイッチから離して設置します。

**注意：** N1108EP-ON はファンレススイッチです。過熱防止のため、外付け電源アダプタをスイッチの上に置かないでください。

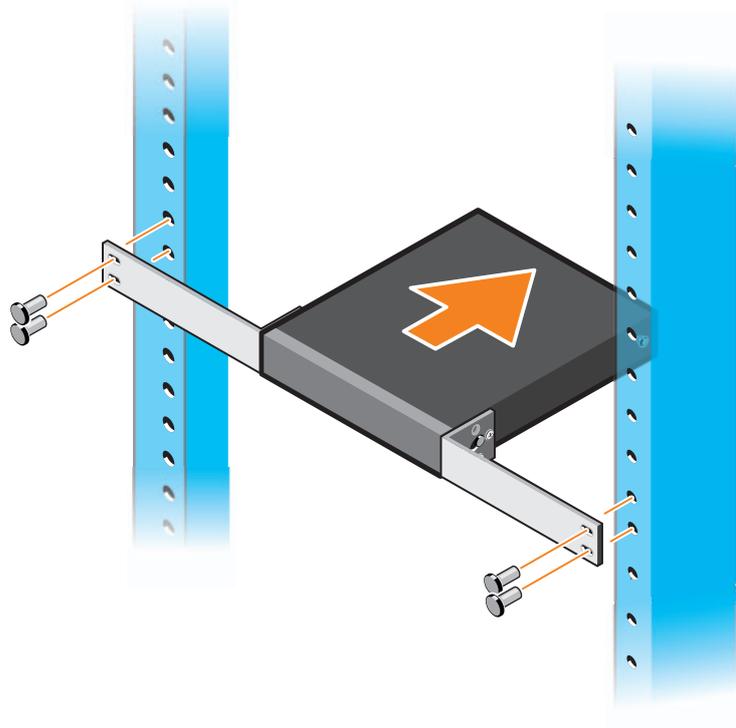
- 1 同梱のラックマウントブラケットを、スイッチの取り付け穴がラックマウントブラケットの取り付け穴に重なるように、スイッチの片側にセットします。図 1-2 のアイテム 1 を参照してください。

図 1-2. 大型 L-ブラケット キットを使用した取り付け



- 2 同梱のネジをラック取り付け穴に挿入し、ドライバーで締めます。
- 3 スイッチのもう一方の側でも同様の手順を繰り返します。
- 4 ラックの前面から、スイッチとレール装置をラックに挿入します。スイッチのラック取り付け穴がラックの取り付け穴に重なるようにします。
- 5 ラック ネジでスイッチをラックに固定します。下側のネジを上側のネジより先に締めます。「図 1-3」を参照してください。

図 1-3. L-ブラケットを使用した 2 ポスト ラックへの取り付け



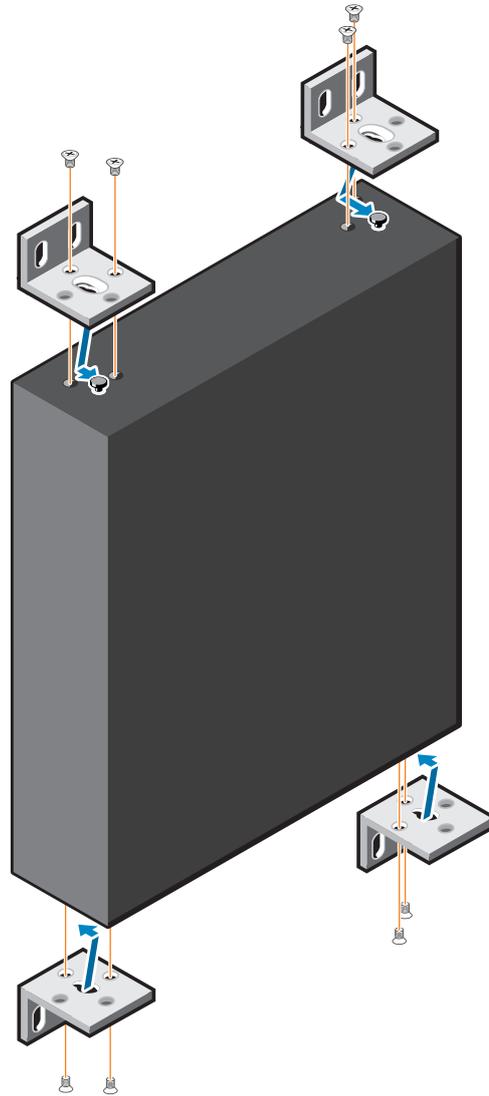
## 壁面へのすべての N11xx-0N スイッチの取り付け

- 1 取り付け場所が次の要件を満たしていることを確認してください。
  - 壁の表面がスイッチを支えられる。
  - 温度の上昇を防ぐため通気性のある場所である。

 **メモ** : N1108P-0N と N1108T-0N は、I/O 側が左、右、または上を向くように壁に取り付けることができます。

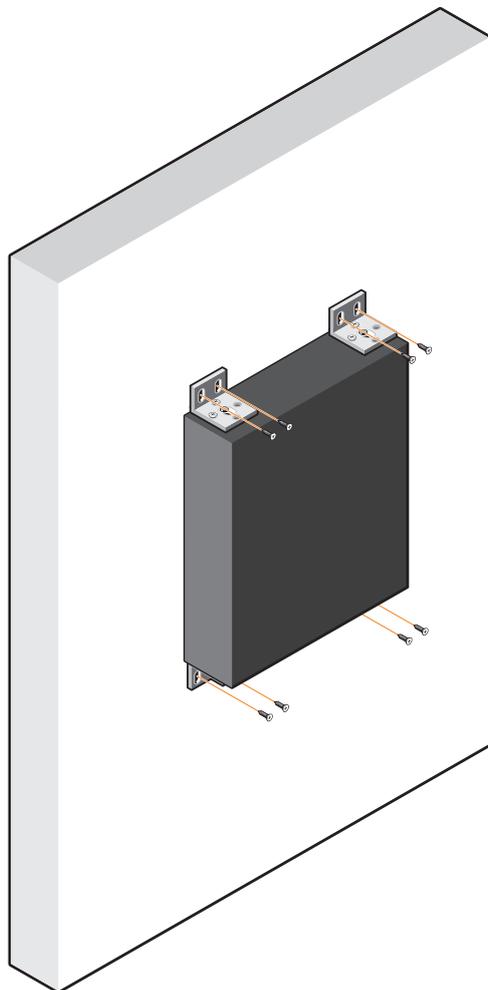
- 2 同梱の壁取り付けブラケットを、スイッチの取り付け穴が壁取り付けブラケットの取り付け穴に重なるように、スイッチの片側に置きます。
- 3 同梱のネジを壁取り付けブラケットの穴に挿入し、ドライバーで締めます。「図 1-4」を参照してください。

図 1-4. マウントブラケットの挿入



- 4 スイッチのもう一端の壁取り付けブラケットも同様の手順を繰り返します。
- 5 スイッチを取り付ける予定の壁にスイッチを置きます。
- 6 スイッチを固定するネジを取り付ける壁の場所にマークを付けます。
- 7 マークされた位置に穴をあけて、同梱の 8 つのアンカーすべてを穴にセットします。
- 8 同梱のネジを壁マウント ブラケットの穴に挿入し、ドライバで締めます。「図 1-5」を参照してください。

図 1-5. 壁への取り付け



# N1124T-0N/N1124P-0N/N1148T-0N/ N1148P-0N の取り付け

## N1124T-0N/N1124P-0N/N1148T-0N/N1148P-0N スイッチのラック取り付け

**⚠ 警告：**安全および認可に関する情報およびスイッチに接続またはサポートしている他のスイッチについての安全情報をお読みください。

AC 電源コネクタはスイッチの背面パネルにあります。

### ラックへの取り付け

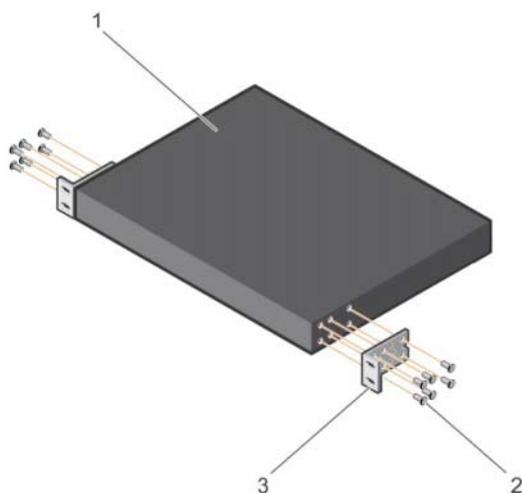
**⚠ 警告：**ラック取り付けキットを使用して、テーブルや机の下からスイッチをぶら下げたり、壁に取り付けたりしないでください。

**△ 注意：**スイッチからすべてのケーブルを外して、続行します。取り付けられている場合はスイッチの下側からすべての粘着パッドを取り外します。

**△ 注意：**ラックに複数のスイッチを取り付ける場合は、下から上に取り付けます。

- 1 右ラックマウントブラケットの穴をスイッチの右側の穴の位置に合わせます。

図 1-6. ブラケットの取り付け

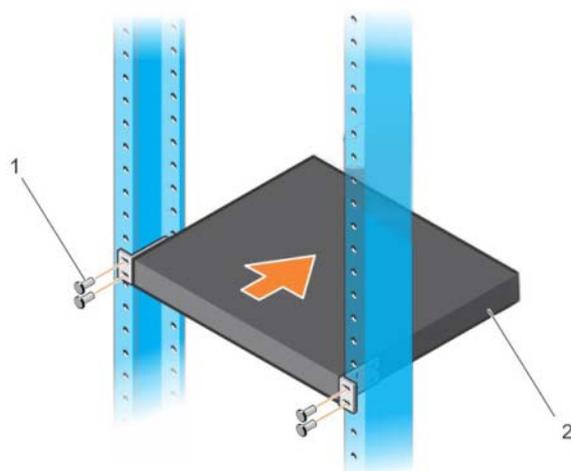


- 2 マウントブラケットに付属しているネジ（図 1-6 のアイテム 2）を締めて、ブラケット（図 1-6 のアイテム 3）をシャーシに固定します。
- 3 手順 1 と 2 を繰り返して、左ラックマウントブラケットをデバイスに取り付けます。
- 4 スイッチを 48.26 cm (19 インチ) のラックに取り付けます。各ブラケットフランジの穴をラックポストの穴に合わせます。
- 5 ラックボルトまたはケージナットおよびワッシャ付きのケージナットボルトのいずれか（お使いのラックの種類による）でブラケットをラックに固定します。底部のボルトを締めてから、上部のボルトを締めます（図 1-7 のアイテム 1）。

**△ 注意：** 付属のラックボルトが、ねじ山の付いたラックの穴に合うことを確認します。

**📌 メモ：** 通気孔がふさがれていないことを確認します。

図 1-7. 2 ポスト ラックへの取り付け



## 独立型のスイッチとしてインストール

 **メモ**：Dell では、スイッチをラックへ取り付けを強く推奨します。ラックに取り付けない場合は、平らな面にスイッチを取り付けます。その平面は、スイッチとスイッチケーブルの重量に対応できる必要があります。スイッチには4個の粘着ゴムパッドが付いています。

- 1 スwitchの下部にマークされたそれぞれの場所に粘着ゴムパッドを取り付けます。
- 2 スwitchを平らな面に置きます。側面に5 cm (2 インチ)、背面に13 cm (5 インチ) 隙間を残して、適切に換気が行われるようにしてください。

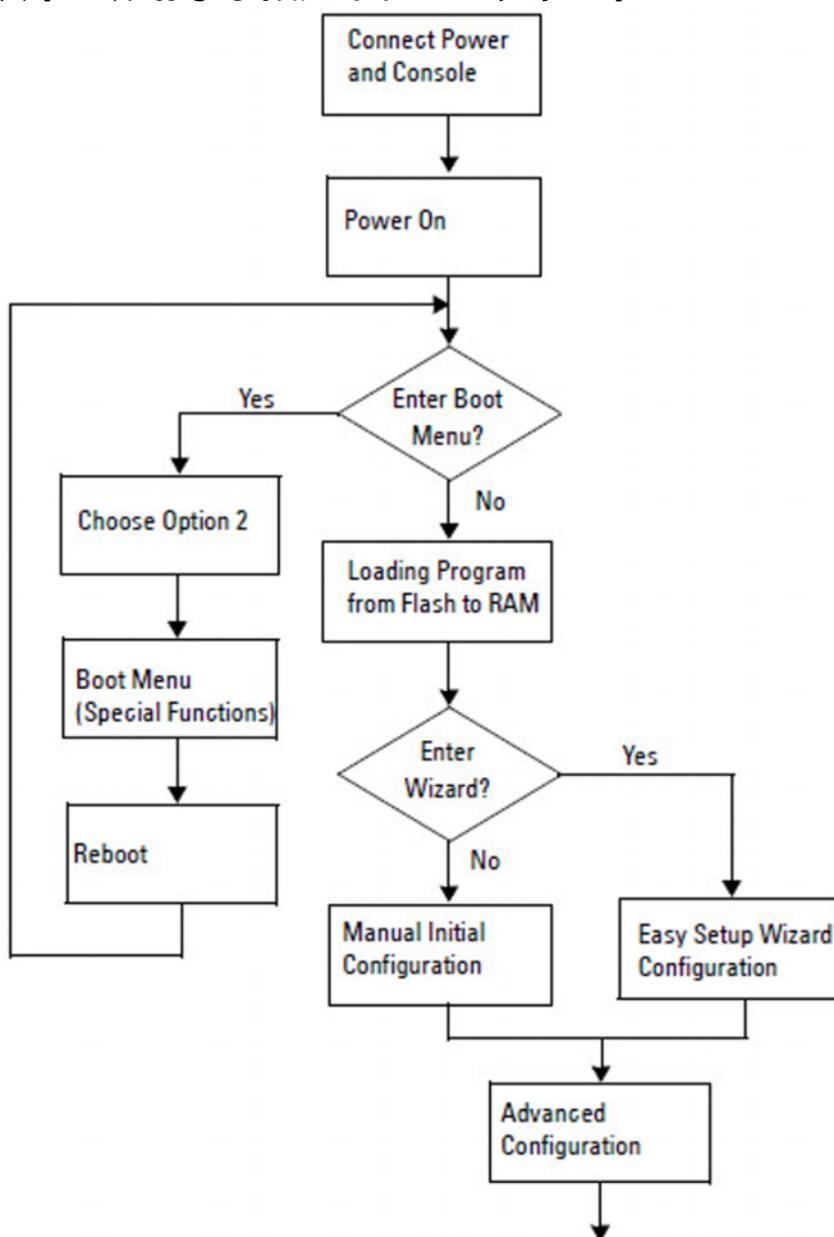
## 複数の N1124T-ON/N1124P-ON/N1148T-ON/N1148P-ON スwitchのスタッキング

スswitchの前面の10G SFP+ ポートを使用してN1124T-ON/N1124P-ON/N1148T-ON/N1148P-ONスswitchを4個のスswitchの高さまでスタッキングすることができます。ポートはスタッキングをサポートするように設定する必要があります。複数のスswitchがスタックポートを通して接続されている場合、最大208個の前面パネルポートの付いた単一のユニットとして動作します。スタックは、単一のエンティティとして動作し管理されます。詳細については、『*User Configuration Guide* (ユーザー設定ガイド)』および『*CLI Reference Guide* (CLI リファレンスガイド)』を参照してください。

# N3000ET-0N/N3000EP-0N スイッチの 開始および設定 N1100-0N シリ ーズ 設定

次のフローチャートは、スイッチを開梱し取り付けた後に行う初期設定  
に使用する手順の概要を記載しています。

図 1-8. インストールおよび設定のフローチャート



## N1100-0N シリーズ スイッチの端末への接続

すべての外部接続の完了後、端末に接続することによってスイッチを設定します。

 **メモ：** 本製品のリリース ノートを読んでから先へ進みます。リリース ノートは [dell.com/support](http://dell.com/support) の Dell サポートサイトからダウンロードすることができます。

 **メモ：** Dell は、[dell.com/support](http://dell.com/support) の Dell サポートサイトから最新版のユーザー マニュアルを入手することを推奨します。

USB コンソールからスイッチを監視および設定するには、スイッチの前面パネルのコンソールポートを使用し、付属の USB ケーブルを使用して VT100 ターミナルエミュレーション ソフトウェアを実行しているコンピュータに接続します。USB ケーブルを初めて使用する場合は、ドライバーをダウンロードおよびインストールする必要があります。コンソールポートを使用するために必要なものは以下のとおりです。

- HyperTerminal® および USB ドライバーなどの VT100 端末エミュレーションソフトウェアを実行している USB ポートの付いた VT100 対応コンピュータ。
- コンソールポート用のタイプ B USB コネクタおよびホスト PC 用の USB コネクタの付いた付属の USB ケーブル。

以下の作業を行って端末をスイッチコンソールポートに接続します。

- 1 USB タイプ B コネクタを付属のスイッチに接続し、他端を VT100 ターミナルエミュレーション ソフトウェアを実行しているコンピュータに接続します。
- 2 ターミナルエミュレーションソフトウェアを以下のように設定します。
  - a 適切なシリアルポート（COM 1 など）を選択して、コンソールに接続します。
  - b データ速度を 115,200 ボーに設定します。
  - c データフォーマットを 8 data bits、1 stop bit、no parity に設定します。
  - d フロー制御を none（なし）に設定します。
  - e ターミナルエミュレーションモードを VT100 に設定します。

- f ファンクションキー、矢印キー、および Ctrl キーでターミナルキーを選択します。設定がターミナルキーであることを確認してください (Microsoft Windows キーではありません)。
- 3 ケーブルの USB タイプ B コネクタをスイッチのコンソールポートに直接接続します。Dell Networking コンソールポートは前面パネルの右側にあり、|O|O| のシンボルの付いたラベルが貼られています。
  -  **メモ：** スタックマネージャへのコンソールからのアクセスは、ローカル CLI 経由でコンソールポートから行うことができます。一度に1つの USB コンソールセッションのみがサポートされています。

## N1100-ON シリーズ スイッチの電源への接続

 **注意：** 安全および認可に関する情報マニュアルおよびスイッチに接続またはサポートしている他のスイッチについての安全情報をお読みください。

N1108T-ON と N1108P-ON モデルには内蔵 PSU が 1 台あります。電源コンセントは背面パネルにあります。N1108EP-ON は外付け DC 電源アダプタを使用します。外付け DC 電源アダプタ

### AC および DC 電源の接続

- 1 スイッチのコンソールポートは USB から USB タイプ B ケーブル経由で VT100 ターミナルエミュレータを実行する PC に接続されていることを確認します。
- 2 安全接地を接続した 5 フィート (1.5 m) の標準電源ケーブルを使用して、電源ケーブルを背面パネルにある AC 電源コンセントに接続します。

PoE モデルのスイッチには、スイッチ電源コンセント用の刻み目のあるコネクタの付いた丈夫な電源ケーブルがあります。PoE 対応スイッチには、このタイプのケーブルを使用することが必須です。
- 3 電源ケーブルを接地された AC コンセントに接続します。

## スイッチの起動 N1100-0N シリーズ

ローカル端末をすでに接続した状態で電源をオンにすると、スイッチがパワーオンセルフテスト (POST) を完了します。POST はスイッチを初期化される度に実行され、完全に起動する前にスイッチが完全に動作するかどうかを判断するためにハードウェアコンポーネントをチェックします。POST で重大な問題が検出された場合、プログラムのフローは停止します。POST が合格の場合、有効なファームウェアが RAM にロードされます。POST メッセージが端末に表示され、テストの合否を示します。起動処理は約 60 秒実行されます。

最初の POST が完了してから **Boot (ブート)** メニューを起動できます。**Boot (ブート)** メニューから、システムを工場出荷時のデフォルトにリセットするなどの設定タスクを実行し、バックアップイメージのアクティブ化、またはパスワードの再設定をすることができます。**Boot (ブート)** メニュー機能の詳細については、*CLI Reference Guide (CLI リファレンスガイド)* を参照してください。

# N1100-ON シリーズの初期設定の実行

初期設定の手順は、次の前提に基づいています：

- Dell Networking スイッチは一度も設定されたことがない。
- Dell Networking スイッチが正常に起動した。
- コンソールの接続が確立され、**Dell Easy Setup Wizard** プロンプトがターミナルエミュレーションソフトウェアを実行している PC の画面に表示されます。

スイッチの初期設定はコンソールポートを介して実行されます。初期設定後は、すでに接続されているコンソールポートまたは初期設定時に定義したインタフェースを介してリモートでスイッチを管理できます。

 **メモ：** スイッチはデフォルトのユーザー名、パスワード、または IP アドレスで設定されていません。

スイッチの初期設定を行う前に、ネットワーク管理者から以下の情報を入手します。

- IP アドレスは、管理インタフェースに割り当てます。
- ネットワーク用の IP サブネットマスク。
- 管理インタフェースのデフォルトゲートウェイの IP アドレス。

これらの設定は、Telnet (Telnet クライアント) または HTTP (Web ブラウザー) を介したスイッチのリモート管理を可能にするために必要です。

## リモート管理の有効化

N1100-ON シリーズ スイッチ上で、帯域内管理用の前面パネルのスイッチポートのいずれかを使用できます。デフォルトでは、インバンドポートは VLAN 1 に所属します。

**Dell Easy Setup Wizard** には、N1100-ON シリーズスイッチの VLAN 1 インターフェイスについてのネットワーク情報を設定するプロンプトが含まれます。固定 IP アドレスおよびサブネットマスクを割り当てるか DHCP を有効化してネットワーク DHCP サーバーが情報を割り当てられるようにすることができます。

ネットワーク情報を設定するコマンドについては、*CLI Reference Guide (CLI リファレンスガイド)* を参照してください。

## 初期設定の手順

Dell Easy Setup Wizard を使用して、または CLI を使用して初期設定を実行します。ウィザードは、スイッチ設定ファイルが空のときに自動的に起動します。Ctrl + Z を入力して、いつでもウィザードを終了できますが、指定されたすべての設定は破棄され、スイッチはデフォルト値を使用します。



**メモ：** Dell Easy Setup Wizard を実行しないまたは 60 秒以内に最初の Easy Setup Wizard プロンプトに回答しない場合、スイッチは CLI モードに入ります。Dell Easy Setup Wizard に戻るには、空の起動設定でスイッチをリセットする必要があります。

CLI を使用した初期設定を行う方法の詳細については、*CLI Reference Guide (CLI リファレンスガイド)* を参照してください。この『はじめに』では、スイッチの初期設定のための **Dell Easy Setup Wizard** の使用方法を示しています。ウィザードは、スイッチ上での以下の設定をセットアップします。

- 有効なパスワードを持つ初期特権ユーザー アカウントを確立します。ウィザードにより、セットアップ中に 1 つの特権ユーザー アカウントを設定します。
- CLI ログインおよび HTTP アクセスを有効にし、ローカル認証設定のみを使用します。
- VLAN 1 ルーティングインタフェース用の IP アドレスを設定します。これには、すべてのインバンドポートが所属します。
- 指定された IP アドレスで使用する SNMP マネージャが使用する SNMP コミュニティ文字列を設定します。SNMP 管理がこのスイッチに使用されない場合は、この手順をスキップします。
- ネットワーク管理システムの IP アドレスを指定またはすべての IP アドレスから管理アクセスを許可できます。
- VLAN 1 インタフェース用のデフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。

## セッションの例

このセクションでは、**Dell Easy Setup Wizard** セッションについて記載しています。次の値は、セッションの例で使用されます：

- 使用する SNMP コミュニティー文字列は **public** です。
- ネットワーク管理システム (NMS) IP アドレスは、**10.1.2.100** です。
- ユーザー名は **admin** で、パスワードは **admin123** です。
- VLAN 1 ルーティングインタフェースの IP アドレスは **10.1.1.200** で、サブネットマスクは **255.255.255.0** です。
- デフォルトゲートウェイは **10.1.1.1** です。

セットアップウィザードでは上記に定義された初期値を設定します。ウィザードを完了したら、スイッチは以下のように設定されます：

- SNMPv2 が有効になり、コミュニティー文字列が上記のように設定されます。SNMPv3 はデフォルトで無効になっています。
- 管理者ユーザー アカウントは定義されたとおりに設定されます。
- ネットワーク管理システムが設定されます。管理ステーションから、SNMP、HTTP、および CLI インタフェースにアクセスできます。(0.0.0.0) IP アドレスを選択することですべての IP アドレスがこれらの管理インタフェースにアクセスできるよう選択することもできます。
- IP アドレスは、VLAN 1 ルーティングインタフェース用に設定されます。
- デフォルトのゲートウェイアドレスが設定されます。



**メモ：** 次の例では、ユーザーが実行可能なオプション、またはデフォルト値は [] で囲まれます。オプションを定義せずに <Enter> を押すと、デフォルト値が受け入れられます。ヘルプテキストは括弧に入っています。

## Dell Easy Setup Wizard コンソールの例

次の例には、前述の入力値を使用した例の **Dell Easy Setup Wizard** セッションの実行に関連したプロンプトおよび応答の順序が含まれています。

スイッチが POST が完了して起動すると、次のダイアログが表示されます：

```
Unit 1 - Waiting to select management unit)>
```

```
_____Dell SupportAssist EULA_____
```

```
I accept the terms of the license agreement.You can reject the license agreement by configuring this command 'eula-consent support-assist reject'.
```

```
By installing SupportAssist, you allow Dell to save your contact information (e.g. name, phone number and/or email address) which would be used to provide technical support for your Dell products and services Dell may use the information for providing recommendations to improve your IT infrastructure.Dell SupportAssist also collects and stores machine diagnostic information, which may include but is not limited to configuration information, user supplied contact information, names of data volumes, IP addresses, access control lists, diagnostics & performance information, network configuration information, host/server configuration & performance information and related data (Collected Data) and transmits this information to Dell.By downloading SupportAssist and agreeing to be bound by these terms and the Dell end user license agreement, available at: http://www.dell.com/aeula, you agree to allow Dell to provide remote monitoring services of your IT environment and you give Dell the right to collect the Collected Data in accordance with Dell's Privacy Policy, available at: http://www.dell.com/privacypolicycountryspecific, in order to enable the performance of all of the various functions of SupportAssist during your entitlement to receive related repair services from Dell.You further
```

agree to allow Dell to transmit and store the Collected Data from SupportAssist in accordance with these terms. You agree that the provision of SupportAssist may involve international transfers of data from you to Dell and/or to Dell's affiliates, subcontractors or business partners. When making such transfers, Dell shall ensure appropriate protection is in place to safeguard the Collected Data being transferred in connection with SupportAssist. If you are downloading SupportAssist on behalf of a company or other legal entity, you are further certifying to Dell that you have appropriate authority to provide this consent on behalf of that entity. If you do not consent to the collection, transmission and/or use of the Collected Data, you may not download, install or otherwise use SupportAssist.

AeroHive HiveManager NG EULA

This switch includes a feature that enables it to work with HiveManager (an optional management suite), by sending the switch's service tag number and IP Address to HiveManager to authenticate your entitlement to use HiveManager. If you wish to disable this feature, you should run command 'eula-consent hiveagent reject' immediately upon powering up the switch for the first time, or at any time thereafter.

Applying Global configuration, please wait...

Welcome to Dell Easy Setup Wizard

The setup wizard guides you through the initial switch configuration, and gets you up and running as quickly as possible. You can skip the setup wizard, and enter CLI mode to manually configure the switch. You must respond to the next question to run the setup wizard within 60 seconds, otherwise the system will continue

with normal operation using the default system configuration. Note: You can exit the setup wizard at any point by entering [ctrl+z].

Would you like to run the setup wizard (you must answer this question within 60 seconds)? [Y/N] **y**

Step 1:

The system is not set up for SNMP management by default. To manage the switch using SNMP (required for Dell Network Manager) you can

- . Set up the initial SNMP version 2 account now.
- . Return later and set up other SNMP accounts. (For more information on setting up an SNMP version 1 or 3 account, see the user documentation).

Would you like to set up the SNMP management interface now? [Y/N] **y**

To set up the SNMP management account you must specify the management system IP address and the "community string" or password that the particular management system uses to access the switch. The wizard automatically assigns the highest access level [Privilege Level 15] to this account. You can use Dell Network Manager or other management interfaces to change this setting, and to add additional management system information later. For more information on adding management systems, see the user documentation.

To add a management station:

Please enter the SNMP community string to be used. [public]: **public**



**メモ:** これが設定されている場合、デフォルトのアクセスレベルは SNMP 管理インタフェースで利用できる最高のアクセスに設定されます。最初に SNMPv2 のみが有効になります。SNMPv3 のセキュリティアクセスの設定に戻るまでは SNMPv3 は無効です (例えば、エンジン ID、ビュー等)。

Please enter the IP address of the Management System (A.B.C.D) or wildcard (0.0.0.0) to manage from any Management Station.[0.0.0.0]: **10.1.2.100**

Step 2:

Now we need to set up your initial privilege (Level 15) user account. This account is used to login to the CLI and Web interface. You may set up other accounts and change privilege levels later. For more information on setting up user accounts and changing privilege levels, see the user documentation.

To set up a user account:

Please enter the user name.[root]: **admin**

Please enter the user password: **\*\*\*\*\***

Please reenter the user password: **\*\*\*\*\***

Step 3:

Next, an IP address is set up on the VLAN 1 routing interface.

You can use the IP address to access the CLI, Web interface, or SNMP interface of the switch.

To access the switch through any Management Interface you can

- . Set up the IP address for the Management Interface.
- . Set up the default gateway if IP address is manually configured on the routing interface.

Step 4:

Would you like to set up the VLAN1 routing interface now? [Y/N] **y**

Please enter the IP address of the device (A.B.C.D) or enter "DHCP" (without the quotes) to automatically request an IP address from the network DHCP server:  
**10.1.1.200**

Please enter the IP subnet mask (A.B.C.D or /nn):  
**255.255.255.0**

Step 5:

Finally, set up the default gateway. Please enter the IP address of the gateway from which this network is reachable. [0.0.0.0]: **10.1.1.1**

This is the configuration information that has been collected:

```
SNMP Interface = "public"@10.1.2.100
User Account setup = admin
Password = *****
VLAN1 Router Interface IP = 10.1.1.200 255.255.255.0
Default Gateway = 10.1.1.1
```

Step 6:

If the information is correct, please enter (Y) to save the configuration and copy the settings to the start-up configuration file. If the information is incorrect, enter (N) to discard the configuration and restart the wizard: [Y/N] **y**

Thank you for using the Dell Easy Setup Wizard. You will now enter CLI mode.

Applying Interface configuration, please wait...

## 次の手順

このセクションに記載された初期設定を完了したら、前面パネルのスイッチポートをインバンド遠隔管理用の生産ネットワークに接続します。

VLAN 1 管理インタフェースの IP アドレスに DHCP を指定した場合は、インタフェースはネットワーク上の DHCP サーバーから IP アドレスを取得します。動的に割り当てられた IP アドレスを検出するには、コンソールポート接続を使用して次のコマンドを発行します：

- VLAN 1 ルーティングインタフェースの場合、**show ip interface (IP インタフェースを表示)** と入力します。

Dell OpenManage Switch Administrator インタフェースにアクセスするには、Web ブラウザーのアドレスフィールドに、VLAN 1 管理インタフェースの IP アドレスを入力します。CLI への遠隔管理アクセスの場合、Telnet または SSH クライアントに VLAN 1 管理インタフェースの IP アドレスを入力します。または、スイッチへのローカル CLI アクセス用のコンソールポートの使用を続行します。

N1100-ON シリーズ スイッチは、VLAN やスパニング ツリープロトコルなどの基本的なスイッチ機能をサポートします。お使いのネットワークに必要な機能を設定するために Web ベースの管理インタフェースまたは CLI を使用します。スイッチの機能の設定方法については、サポートサイト：[dell.com/support](http://dell.com/support) で入手可能な *User Configuration Guide* (ユーザー設定ガイド) または 『*CLI Reference Guide* (CLI リファレンスガイド)』を参照してください。

# 機関のコンプライアンス

N1108T-ON、N1108P-ON、N1108EP-ON、N1124T-ON、N1124P-ON、N1148T-ON、N1148P-ON の各スイッチは、以下の安全および機関の要件に準拠しています。

## 米連邦通信委員会ステートメント

本装置はテストの結果、FCC 規定の第 15 部に準拠したクラス A のデジタルデバイスに対する制限を満たすことが確認されています。これらの制限は、装置を商用環境で動作させた場合に、有害な妨害に対して適切な保護を提供するように設定されたものです。本装置は、無線周波数エネルギーを生成、使用し、放射します。指示に従って設置、使用しない場合、無線通信に対する有害な妨害を引き起こすことがあります。住宅地で本装置を動作させると有害な妨害が発生しやすくなるため、ユーザーは自己の負担で妨害を是正するための必要な措置を取る必要があります。

FCC 放出制限を満たすため、適切な遮蔽 / 接地ケーブルとコネクタを使用してください。Dell EMC は、非推奨のケーブルおよびコネクタの使用または装置の不正な変更や修正により発生する無線またはテレビジョン妨害について責任を負いません。不正な変更または修正を行うことで、ユーザーは装置の使用権限を失うことがあります。

本装置は FCC 規定の第 15 部に準拠しています。動作は、次の 2 つの条件を前提としています。(1) 本装置が有害な妨害を引き起こさないこと。(2) 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性がある妨害など、受信したあらゆる妨害を受け入れること。

## 図 1-9. カナダ通信局声明文

### Industry Canada Class A emission compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

### Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

## 欧州連合 EMC 指令への適合宣言

本製品は、電磁両立性に関する加盟国の法律を接近させるための EU 委員会指令 2004/30/EC の保護要件に準拠しています。Dell EMC 以外のオプションカードを取り付けるなど、推奨されていない変更を本製品に加えたことによって保護要件を満たすことができなくなった場合、Dell EMC はいかなる責任も負いません。

本製品はテストされており、CISPR 32/CISPR34 および EN55032/EN55034 に従ってクラス A の情報技術機器の制限に準拠していることが確認されています。クラス A 機器の制限は、商用および工業環境向けに設けられており、ライセンスを受けた通信機器との干渉を適切に保護します。

**警告：本製品はクラス A 製品です。住宅環境では、本デバイスが無線障害の原因となる可能性があります、その場合はユーザーによる適切な是正措置が必要となる場合があります。**

欧州共同体の連絡先：

Dell EMC、EMEA（中央）

Dahlienweg 19

66265 Heusweiler

ドイツ

電話番号：+ 49 172 6802630

E メール：EMEA 中央販売

# クラス A 装置の日本 VCCI 準拠

## 図 1-10. 日本：クラス A 装置の VCCI 準拠

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に準拠したクラス A 製品です。本装置を住宅環境で使用すると、電波妨害が生じる場合があります。このような問題が発生した場合は、ユーザーによる是正措置が必要となることがあります。

**警告： AC 電源コードは Dell EMC 機器のみに使用してください。Dell EMC の AC 電源コードを許可されていないハードウェアで使用しないでください。**

## 図 1-11. 日本：警告ラベル

本製品に同梱いたしております電源コードセットは、本製品専用です。本電源コードセットは、本製品以外の製品ならびに他の用途でご使用いただくことは出来ません。製品本体には同梱された電源コードセットを使用し、他製品の電源コードセットを使用しないで下さい。

# インドのコンプライアンス認定

本製品は、テレコム エンジニアリング センター (TEC) の規制に関する必須要件に準拠しています。

# 韓国のコンプライアンス認定

図 1-12. 韓国のコンプライアンス認定

<p>A급 기기 (업무용 방송통신기자재)</p>	<p>이 기기는 업무용(A급) 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.</p>
--------------------------------	--

図 1-13. 韓国語パッケージ ラベル

	 [equipment type]
품명(Product Name)	Ethemet Switch
모델명(Model)	[model number]
신청인(Applicant)	Dell Technologies
제조사(Manufacturer)	
제조년월(Manufacturing Date)	[date]
제조국(Country of Origin)	China

## 安全基準およびコンプライアンス機関認定

- IEC 62368-1、セカンドエディション
- CUS UL 60950-1、セカンドエディション
  - UL 60950-1 について、Hi Pot およびグラウンド継続性テストを満たすか、または超過しています。
- AS/NZS 60950
- CSA 60950-1-03、セカンドエディション
- EN 60950-1、セカンドエディション
- EN 60825-1、ファーストエディション
- EN 60825-1 レーザー製品の安全性 — 第 1 部：機器分類要件およびユーザズガイド

- EN 60825-2 レーザー製品の安全性（第2部）：光ファイバー通信システムの安全性
- FDA 規制 21CFR 1040.10 および 1040.11
- IEC 60950-1、セカンドエディション（国の独自の個別要求事項およびグループの差異をすべて含む）

## 電磁両立性

### エミッション

- 国際：CISPR 32：クラス A
- オーストラリア/ニュージーランド：AS/NZS CISPR 32、クラス A
- カナダ：ICES-003、第4版、クラス A
- ヨーロッパ：EN55032：2015（CISPR 32）、クラス A
- EN55032
- 日本：VCCI クラス A
- 韓国：KN32、クラス A
- 台湾：CNS13438、クラス A
- 米国：FCC CFR47 パート 15、下位区分 B、クラス A

### イミュニティ

- ネットワーク機器用 EN 300 386 EMC
- EN 55024
- EN 61000-3-2 高調波電流放出
- EN 61000-3-3 電圧変動およびフリッカー
- EN 61000-4-2 ESD
- EN 61000-4-3 放射イミュニティ
- EN 61000-4-4 EFT
- EN 61000-4-5 サージ
- EN 61000-4-6 低周波伝導イミュニティ

## 製品のリサイクルと処分

該当する地域の規制および国内規制に従って、当システムをリサイクルまたは破棄する必要があります。Dell EMC では、情報技術 (IT) 機器が不要になった際、所有者が機器を確実にリサイクルするようお願いしています。Dell EMC では、多くの国でさまざまな製品返品プログラムやサービスを提供しており、機器の所有者による IT 製品のリサイクルをサポートしています。

## IT および電気通信製品のリカバリ、リサイクル、再利用のための廃電気電子機器指令 (WEEE)

Dell EMC スイッチには、廃電気電子機器指令 (WEEE) に関する欧州指令 2002/96/EC に従ってラベルが付けられています。当指令は、欧州連合全体に適用される、使用済みアプライアンスの返却およびリサイクルのためのフレームワークを決定するものです。さまざまな製品に適用されているこのラベルは、製品のライフサイクル終了時に製品を破棄せず、当指令に基づいて再利用が必要なことを示しています。

図 1-14. 欧州 WEEE 記号



欧州 WEEE 指令に従って、電気電子機器（EEE）はライフサイクル終了時に個別に収集、再利用、リサイクル、またはリカバリされるものとして扱われます。WEEE 指令付録 IV によって WEEE マークのある EEE のユーザーは、前述のようにライフサイクルが終了した EEE を分別せずに一般破棄物として廃棄することはできません。WEEE の返却、リサイクル、リカバリーについてお客様に提供される収集フレームワークをご利用ください。EEE に有害物質が存在する可能性があるため、環境および人体への潜在的な影響を最小限に抑えるため、お客様にご協力いただくことが重要です。

WEEE の基準を満たす Dell EMC 製品には、WEEE で求められているように、上記のバツ印の付いたごみ箱マークのラベルが貼られています。

Dell EMC 製品のリサイクルの詳細については、サポート ページの「リサイクルの手順」を参照してください。詳細については、Dell EMC テクニカル アシスタンス センターにお問い合わせください。

# 作動高度：情報アップデート

 **メモ：**このマニュアルに記載されている動作高度の制約は、中国に出荷されるシステムにのみ適用されます。

次の情報は、中国の公式規格の要件に従っています。

- 動作高度は -15.2m ~ 2000m (-50 ft ~ 6560 ft) の範囲内です。
- 高度が 2950 フィートを超えると、作動時の最大許容温度は 550 フィートごとに 1°F ずつ低下します。



[www.dell.com](http://www.dell.com) | [dell.com/support](http://dell.com/support)